

ARAI NEWS

Actual Story From Inside.

ヘルメット
〒330 埼玉県大宮市東町2-12
☎0486(41)3825~7



ライナーの秘密

3月8日に開催されるレースシーズン開幕のピックアップイベント、デイトナ200bbyアライスーパーバイクレース。今年もアライがメインスポンサーとなって開催されます。

アライがレースサポートを始めた時に、最初にチャレンジしたのもデイトナでした。世界でも特有の高速コースで、長いバンクを強いGを受けながら走るライダー達は、当然のように、ヘルメットにも安全性はもちろん、フィット感、空力特性等、当時から最もシビアな要求を持っていました。

当時アメリカでレースに使用されるヘルメットと言えば、アメリカで生産され

ている歴史あるメーカーのものだけでした。アライでも初めは、どこよりも成績の良いテストライダーと一緒にヘルメットを持っていても、ライダー達からなかなか相手にされず苦労したんです。

そんな中でアライを選んでくれた一人に、当時ケニールボーツ二世と言われた新進ライダーがいました。彼はある程度の素質があつて遠くには遠かったのですが、転倒が多かったのが玉にキズでした。ある日も、デイトナでブラクティスをしてた時に、第一コーナーで運悪く転倒し、前頭部から突っ込んでしまいました。彼はすぐに起き上がったんですが、その時に奇妙なことに気がつきました。前にも同じようにこけたことがあるが、その時はいつも2-3時間気絶してから目が覚めた。ところがアライに変えたらすぐに起き上がることが出来る。こんな噂がライダーの間にまたたく間に広がり、俺にもアライを使わしてくれというライダーが殺到して、アメリカのレース界でアライが認められるようになったんです。

アライの製品には数多くの秘密のノウハウが投入されていますが、前頭部から突っ込んで気絶しなかった秘密も、ラバイドやMX-2等レースで使える製品の全てに使用されている発泡スチロール製ライナーによるものなんです。

ライナーは破壊される事により衝撃をやわらげる働きをするのは、存知のとおりです。しかし、実際に働くのは衝撃を受けた部分だけで、全体が同時に働くわけではありません。ここに問題があります。衝撃を受けた方向により、破壊される面積が大きく変わることです。側頭部

や後頭部では、比較的広い面を用い衝撃を吸収しますが、前頭部では、おてこの上半分の狭い面で衝撃を吸収しなければなりません。側頭部など吸収する面が大きい部分では、ライナーは過度にやわらかな方がうまくつぶれるので大きな緩衝効果を得られます。ところが、同じやわらかなライナーを前頭部に用いると、小さな面で衝撃を吸収しなければならないので、ライナーは、もろにつぶれて頭は帽体内部に直撃するということになりかねません。ところが、発泡体の強度を部分的に変えて成形するのは大変むずかしい、今でも内外のメーカー全て、中ぐらいの強度で均一に成形したライナーを使用しているというのが現状でしょう。但し、アライは別です。発泡体の前頭部分だけ硬度を覚えて、一体成形するという秘密のノウハウを、15年以上前に確立しています。これによると、前頭部は硬く、その他ではやわらかくという最も理想に近いライナーが出来るのです。

このようなライナーの秘密もあって、アライの製品はアメリカでも受け入れられ、今では、目標としていたデイトナ200のメインスポンサーをさせて頂けるようになりました。ところで、あの気絶をしなかったライダーは、転倒がたつて、結局のところ大成は出来ませんでした。今年のデイトナ200bbyアライでは、いよいよフレディー・スペンサーも復活します。どんなドラマが生まれるか、みなさんも楽しみにして下さい。

